

## 松木日向緑地プログラム 松木日向緑地の竹林整備

連携団体

ひなた緑地遊学会

2020年11月14日（土）

報告



### 松木日向緑地で竹林整備！

11月14日(土)、「地域ボランティアプログラム（松木日向緑地プログラム）」の活動として、都立大・南大沢キャンパス内にある松木日向緑地の竹林整備活動を行いました。

今回は、前回と異なる学生2名が連携団体である「ひなた緑地遊学会」の方々とともに、松木日向緑地の東側エリアで竹の間伐を実施しました。

### 松木日向緑地の変化

地域ボランティアプログラム“松木日向緑地プログラム”では、毎年、竹の間伐や地面を保湿したり養分を与えたりするための落ち葉撒きなどの活動を通して竹林の整備に取り組んできました。特に、連携団体である「ひなた緑地遊学会」の方々が管理されているエリア（通称：たけのこの里）では、年々竹の密生が解消され、自立支援施設の方や近隣小学校から訪れる親子とのたけのこ掘りに最適な場所となっていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりたけのこを掘ったり、竹を切ったりすることができない時間が続いたため、現在このエリアは竹が密生し、陽の光が竹で遮られて暗い状態となっていました。下記のように、2つの写真を見比べてみるとその違いは明らかです。

#### 竹林の変化

2020年  
2月14日  
撮影



2020年  
11月14日  
撮影



#### 今回の活動場所



首都大学東京・東京立大学 ひなたブック製作委員会『ひなたブック』, 2007より

### 当日の様子

前回と同様、今回もひなた緑地遊学会の方々とともに、松木日向緑地の東側エリア（前回の活動場所から少しだけ移動したエリア）で竹の間伐を行いました。

間伐する竹は、「栄養が届かなかったり、病気になっていたりして、枯れかかっているもの」「樹木の周りで日光を遮っていたり、樹木自体を締め付けたりしているもの」「古いもの」を中心に選びました。ある程度間伐が行われている竹林では、竹と竹の間に距離があるため、伐採した竹を倒したり、竹を短く切ったりするなどの作業がしやすいのですが、現在は竹と竹の間の距離が短いので、伐採した後、竹が倒れる時に途中で周りの竹に引っかかり、うまく倒すことができず大変です。

参加したメンバーは汗をかきながら、どのように倒したらいいのか考えながら、竹の間伐に黙々と取り組んでいました。

活動後の振り返りでは、「久しぶりに竹を切って気持ちよかった」「想像していたよりも大変だった」という感想を共有しました。今後も継続して取り組み、コロナ禍で失われつつある体力もつけていきたいと思います。

前回に続き、今回の活動の様子も本センターのYouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



都立大ボラセン  
YouTubeチャンネル

当日の様子を公開中！

